

本時の指導

(1) ねらい

小笠原諸島の観光について知り、これからの観光について考えることができる。

(2) 展開

時	学習活動	☆指導上の留意点 ○評価規準【評価の方法】
0	<p>言語活動タイム</p> <p>1 都道府県フラッシュカード</p> <p>学習課題 小笠原諸島の観光はどのように変化し、変わっていくのだろうか。観光客は増えた方がいいのか？減った方がいいのか？</p>	<p>☆県庁所在地、特産物も読み、覚えさせる。</p>
10	<p>2 資料から、小笠原諸島の観光について知る。</p> <p>3 観光客が増えた方がいいのか減った方がいいのかを考える。</p> <p>4 観光に携わる人々は、島のどんな思いや願いがあるかを調べる。 ◇どうして飛行場に反対するのだろうか。</p> <p>5 観光の問題点を考え、交流をする。 増えた方がいい派 ◇島の暮らしが豊かになる 減った方がいい派 ◇大切な自然が失われる</p>	<p>A 考える視点 【自己の思考】 ☆パンフレットから、意見の根拠を見つけさせ引用させる。</p> <p>☆島の人たちの観光客に対する思いや願いを調べ、考えられるようにする。 ☆考えた意見をキーワードで板書させ、様々な考えを参考にさせる。 ☆飛行場建設問題点の資料をあたえ、さらに考えさせる。</p> <p>B 交流する視点 【思考の交流】 ☆話し合いを効率よく行うために、指名なしで発表をさせる。</p> <p>☆島の人、観光客など様々な立場で、感じたことや考えたことを交流させる。 ○考えたことを交流し、自分の考えを広めたり深めたりしている。 【思・ノート、発言】</p>
40	<p>6 話し合い後の意見を書く。</p>	<p>C 活用する視点 【思考のまとめ】 ☆ノートに交流後の共通点や新たに考えたことを書かせる。</p> <p>○話し合いで感じたこと書いている。 【思・ノート】</p>

【中心参考文献】

◇小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 社会編平成29年7月 文部科学省